

# ひまわりだより

NO.314

2024年 7月



巾上ひまわり薬局 松本市巾上10-5 TEL 0263-35-4441  
FAX 0263-37-5561  
塩尻ひまわり薬局 塩尻市長畝230-3 TEL 0263-51-5311  
FAX 0263-51-5322

定休日 日曜・祝日



とびひは、梅雨時季から夏にかけて多く発症する症状です。夏場は汗をかいて不潔になりやすかったり、抵抗力が落ちるとともに、細菌の増殖力が強くなるため、とびひになりやすいのです。

おもに0～6歳くらいの小児に多くみられ、皮膚のバリア機能の弱い子どもは、とびひになりやすいと言えます。大人でもアトピー性皮膚炎の人や高齢者などでなりやすいです。

とびひとは俗名で、接触によってうつり、火事の飛び火のようにあっという間に広がるため、たとえてとびひと言われますが、正式病名は<sup>でんせんせいのかしん</sup>伝染性膿痂疹といえます。

## ☆原因

とびひの原因は「細菌」です。私たちの体には普段から「常在菌」といわれる細菌が付着しています。常在菌は日常生活では影響がない存在ですが、皮膚のバリア機能が低下しているときに傷などから皮膚に侵入し、感染を引き起こ



すことで症状が現れます。あせも・虫刺され・湿疹などを引っ搔いた傷、転んでできた傷などに、細菌が感染してとびひとなります。また、鼻の穴の入口には様々な細菌がいるため、鼻を触ったりほじるクセのある子は、鼻の周囲からとびひが始まったり、その手であせもや虫刺されなどを触ることでとびひになってしまいます。



## ☆種類・症状

原因となる菌には、黄色ぶどう球菌と A 群 β 溶血性レンサ球菌があり、どちらも常在菌です。とびひの症状は、原因となる細菌の違いによって、大きく 2 種類に分けられます。

ひとつは、水ぶくれを伴うもの、もうひとつは水ぶくれを伴わず、かさぶたができるものです。

### ・水ぶくれができるとびひ

とびひのなかでも水ぶくれを伴うものは、主に黄色ブドウ球菌が原因で、すいほうせいのかしん水疱性膿痂疹といます。

赤くなり、だんだんと薄い皮のはった水ぶくれができてくる初期の症状が特徴で、経過とともに水ぶくれの薄皮がめくれたような状態になります。このタイプのとびひの場合、発熱などの全身症状が現れることはありません。鼻や口の周りから発症することが多く、汗をかきやすい夏場に多く発症する傾向があります。

### ・かさぶたができるとびひ

水ぶくれがなく、分厚いかさぶたのようになる症状



のとびひは、主に溶血性レンサ球菌が原因で、<sup>かひせいのかしん</sup>痂皮性膿痂疹といえます。

赤く腫れたところに膿疱（<sup>のうほう</sup>膿をもった水ぶくれ）ができ、厚いかさぶた（痂皮）になります。このタイプのとびひは、夏場以外でも発症する可能性があり、発熱やのどの痛み、リンパの腫れなどの全身症状をともなうのが特徴です。

両方の症状を併発することも多く、水ぶくれの有無だけでははっきりと判別できないこともあります。

## ☆治療

範囲が広範囲の場合は抗生剤の内服が処方される場合があります。自己判断で中止せず、医師の指示に従い、しっかり飲みきりましょう。範囲が狭い場合は、軟膏などの外用薬のみが処方されます。



かゆみが強い場合には、かゆみを鎮める抗ヒスタミン薬が処方されることもあります。

## ～気をつけること・ポイント～

- ・塗り薬の塗り方は、外側から内側にむかって、滲出液を広げないように塗りましょう。

直接薬を塗らずに、ガーゼに薬をつけて蓋をするように覆うという方法もあります。

- ・皮膚を清潔に保つことが大切です。発熱などがなければ毎日シャワーを浴びましょう。石鹸はよく泡立てて患部を優しく丁寧に、こすらないよう



に洗った後、しっかり洗い流しましょう。

シャワーで済ませるのがよいですが、入浴する場合には、患児を最後に入浴させます。タオルを介してうつってしまうこともあるため、タオルは家族と共有してはいけません。洗濯は一緒に構いません。

- 患部を乾燥させることを心がけますが、引っ搔かないことが一番なので、ガーゼや包帯で覆うのがオススメです。絆創膏は、密閉された状態で菌が増えたり、はがす時に皮膚を傷つけて、そこにまた菌がついてひろがってしまう可能性があるため、使わないほうが無難です。
- 患部を処置し、ガーゼ等で覆っていれば、登園・登校は可能です。ただし、水遊びやプールはうつる可能性があるため、基本的には禁止で、医師の指示に従いましょう。



## ☆予防

- 日頃から皮膚を清潔にし、手をよく洗いましょう。また、汗をかいたときにはこまめに拭き取り、着替えをするようにしましょう。
- 引っ搔かないようにし、爪は短く切りましょう。
- 鼻をほじらないように心がけましょう。
- 虫に刺されないように虫刺され対策をしましょう。



❖❖ ひまわり薬局ではホームページも開設しています ❖❖

<http://www.himawari-ph.nagano.jp/>

こちら是非、ご覧ください 😊